

2015年度 工学部機械工学科 教育課程表(2014年度入学者から適用)

(学年は標準年次を示す)

	1年次						2年次						3年次						4年次						卒業要件 単位数		
	1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター					
	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者			
専門基礎必修科目	微分積分学A	4	*1	幾何学A	2	何森	物理学実験A	2	*4	△物理学実験A	2	{ 有働 相澤 小谷														13	
	情報処理演習 I	1	渡邊(恭)	物理学A	2	{ 西野 佐々木 小野	△物理学A	2	相澤	△微分積分学A	4	村田	△幾何学A	2	大町												
専門基礎選択科目	数学演習 I	1	{ 山崎(徹) 高野 有馬 林(晃)	数学演習 II	1	{ 山崎(徹) 寺島 林(晃) 船見 小林	△情報処理演習 I	1	江口	△情報処理演習 I	1	伊東(杏) 山崎(教)	微分方程式 II	2	{ 山崎(教) 大町 松田	物理学IV 基礎化学 I	2	基礎化学 II	2								8
				微分積分学B	4	*2	幾何学B	2	{ 伊東(杏) 山崎(教)	微分方程式 I	2	{ 山崎(教) 大町 清水	物理学III	2													
専門必修科目	機械工学実習	1	{ 笹田 鈴木(健)	機械解剖	1	{ 中尾 伊東(弘)	機械製図 I	2	{ 鈴木(健) 熊倉	CAD/CAM I	2	{ 鈴木(健) 伊東 原村 伊東	技術者倫理 機械設計 I	2	2	機械工学論講 機械実験	2		卒業研究 (通年科目)			8			41		
	MデザインA	1	{ 伊東 鈴木(健) 梅本 林(晃)	工業力学 II	2	{ 中西 寺島	機械力学 I	2	山崎(徹)	工業熱力学 I	2	江上	流体力学 I	2	中西				論講 (通年科目)			2					
	機械要素	2	笹田				自動制御 I	2	江上																		
	工業力学 I	2	{ 高野 寺島				材料力学 I	2	{ 伊藤 竹村																		
選択科目				コンピュータ解析	2	{ 高野 有馬 梅本	機械材料	2	{ 寺島 田島	機械力学 II	2	山崎(徹)	プロジェクトワーク 機械製図 II 工業熱力学 II	2	2	2	機械設計 II CAD/CAM II メカトロニクス	2								26 以上	
				工学解析	2	{ 伊藤 中尾	エンジン工学	2	渡邊	自動制御 II	2	江上															
							MデザインB	2	{ 原村 伊藤 竹村 有馬 船見	加工学 I	2	{ 笹田 青木	加工学 II	2	{ 林(憲) 竹村 伊藤	流体力学 II 基礎電気工学 工作機械 加工学 II	2	2	2	2	2	デジタル工学	2				
							MデザインC	2	林(憲) 梅本																		
関連科目				工業概論	2	*3	応用数学 I	2	平田	代数学概論	2	伊東	信頼性工学	2	浅野	品質工学	2	秋葉	量子物理学 I	2	西野	量子物理学 II	2	野村	6 以上 (関連科目含む)		
							確率・統計 I	2	儀我	**職業指導 II (工業)	2	小嶋	代数学 I	2	{ 東川 勝野	代数学 II	2	{ 東川 勝野	システム工学	2	秋吉						
							**職業指導 I (工業)	2	小嶋				関数論 I	2	{ 勝野 儀我	関数論 II	2	{ 勝野 儀我									

\*1:鈴木(敏), 鈴木(友), 小林, 高橋, 平田, 伊東(杏), 越野

\*2:鈴木(敏), 鈴木(友), 村田, 高橋, 平田, 伊東(杏), 越野, 矢島

\*3:中西, 伊藤, 原村, 三谷, 窪谷, 内田, 島崎, 中井, 鎌田

\*4:松田, 有働, 相澤, 小原, 半場, 白井

**【備 考】**

- ※印は教職関連科目につき卒業要件単位には算入しない。
- △印は再履修授業科目を示す。

**【履修要件】**

- 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては、2年次からこの制限を設けない。
- 工学部他学科で開講されている授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。
- 1年間に履修登録できる単位数は、52単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。(通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する。)ただし、第二外国語科目、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。

**【進級要件】**

(1年次から2年次)

- 1年次終了までに、26単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 「FYS」を修得し、かつ「機械工学実習」、「機械解剖」のうち1科目以上修得しなければならない。

(2年次から3年次)

- 2年次終了までに、66単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 「数学演習Ⅰ」、「数学演習Ⅱ」を修得しなければならない。
- 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図Ⅰ」のうち3科目以上修得しなければならない。

(3年次から4年次)

- 3年次終了までに、106単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図Ⅰ」、「CAD/CAMⅠ」、「機械実験」のうち5科目以上修得しなければならない。

**【学外単位認定制度】**

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

**【卒業要件】**

- 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通教養科目										専攻科目					合計		
	共通基盤科目					共通テーマ科目					共通教養科目合計	専門基礎必修科目	専門基礎選択科目	専門必修科目	選択科目		関連科目	専攻科目合計
	FYS	外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える								
2014年度以降入学	2	8	4	4	4	2					32	13	8	41	26	6	94	126

- 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほか4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化Ⅰ～Ⅲ」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。
- つぎの単位は、6単位を上限として関連科目の単位に換算できる。
  - 工学部他学科で開講されている専攻科目の修得単位。
  - 同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した(必修以外)外国語科目。
  - 専門基礎選択科目8単位を超える修得単位。
- 資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」の単位数は、卒業要件単位に含めない。
- 総合工学プログラムから機械工学科に所属された学生は、総合工学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を機械工学科の専攻科目に置き換えることができる。

**教育課程における標準年次の区切線について**

- 標準年次が実線(——)で区切られている場合、上位年次の授業科目は履修できません。
- 標準年次が破線(……)で区切られている場合、上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。